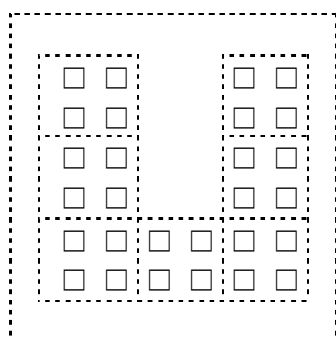
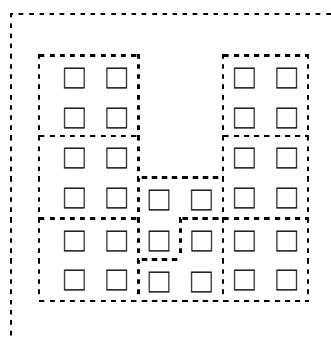


## [当初の校内申し合わせ事項]

- 「学び合い」を通して温かい人間関係を作り、理解の深化と表現力を養う
- 座席はコの字型とする →下図参照
- 3～4人のグループで学習する場面を設定する
- 設定する「課題」が重要→簡単すぎず、難しすぎず
- 生徒が何をすればいいのかわかるように指示する→特別支援の観点
- 教師はできるだけ口出ししない
- 話し合いができていくグループには支援をする
  - 生徒と生徒、生徒と教材（課題、教具、教科書、資料集、公式集など）をつなぐ
- 司会などの役割分担はしない
- 教師も生徒も、思ったこと、感じたことを自由に発言できる状況をつくる
  - 「話す」「伝える」という表現力
  - 温かい人間関係（協同学習を通して培われる）
- 「わからない」と言える雰囲気
- 「教えて」といえる雰囲気→依存
- 「教える」ことで新たな「学び」ができる
- 相手の意見はしっかりと聞く
- 相手の表情を見ながら話す
- マグネット黒板やワークシートを使って、考えの道筋が明らかになるようにしていく
- グループでの活動を終えるタイミングを考える
  - 活動が停滞、低調
  - グループによる差が激しい
- グループごとに発表し合い、意見の交流をする
- どんな学びがあったのかをまとめておく
  - 「書く」という表現力
  - 授業研究でも重要な観察対象である
  - 授業研究も教師の学びの場である
  
- 評価の方法→現行の評価
- 授業における「理解の深まり」「学びの様子」の評価の方法



28人



30人